

令和8年1月定例会会議録

(令和8年1月26日)

八代市教育委員会

八代市教育委員会 1 月定例会会議録

- 【開催日】 令和8年1月26日（月）
- 【場所】 八代市役所本庁4階 403会議室
- 【出席者】 中 勇 二 教育長
渡 邊 裕 一 教育委員
澤 村 互 寛 教育委員
早 田 蛭 教育委員
丸 山 智 子 教育委員
- 【出席職員】 田 中 智 樹 教育部長
鋤 田 敦 信 教育部次長
下 津 恵 美 教育部次長
押 方 佐地子 教育政策課長
加 賀 真 一 学校教育課長
稲 本 健 一 教育部理事兼教育施設課長
泉 宜 孝 生涯学習課長
有 働 有里子 教育サポートセンター副所長
田 島 良 洋 博物館未来の森ミュージアム副館長
植 田 浩 之 未来の学校づくり推進室長
永 野 祐 樹 学校教育課指導主事兼指導係長
- 【事務局】 池 田 拓 次 教育政策課主幹兼教育政策係長
浦 本 美代子 教育政策課参事

（審議事項）

<議案案件>

① 八市教委議第1号

八代市立学校体育施設条例施行規則の一部改正について

② 八市教委議第2号

八代市立博物館未来の森ミュージアム条例の一部改正について

<協議案件>

① 協議第1号

八代市立学校及び八代市立幼稚園並びに八代市立特別支援学校の夏季休業日の期間について

1. 開会 (午後2時00分 開会)

2. 会議録承認 令和7年11月定例会

3. 教育長報告 前回の会議から今回までに参加した行事や事業、委任された事項などの中で特に重要と思われるものについて報告

4. 議題

<八市教委議第1号> 八代市立学校体育施設条例施行規則の一部改正について

押方教育政策課長 令和7年度に新たに学校体育館に整備された空調設備について、令和8年4月から冷暖房の一般利用を開始するに当たり、冷暖房に係る使用料を定めるもの。

質問等なし

【八市教委議第1号 承認】

<八市教委議第2号> 八代市立博物館未来の森ミュージアム条例の一部改正について

田島博物館未来の森ミュージアム副館長 高校生の博物館利用を促進するため、高校生の常設展示観覧料を無料とするもの。

澤村教育委員 無料になるのは大変良いことだと思う。高校生にしっかりと周知していただきたい。博物館には、素晴らしい美術品や郷土の資料があることをアピールしていただきたい。

田島博物館未来の森ミュージアム副館長 条例改正後は、各高校に出向いて周知したい。

田中教育部長 この案件は条例であるため、3月市議会に提出する。市内の公共施設で高校生を無料としているのは、この案件だけである。中学生までを無料としている施設はある。なぜ高校生まで無料とするのかという質問を受けると思うが、1年間の博物館の改修が終わり、4月にオープンするので、これを機に高校生を含めた市内の子供たちにもっと博物館を利用していただきたい。素晴らしい博物館が八代市にはあるということを知っていただき、学校の部活動などでも利用していただきたい。県立博物館や国立博物館は高校生までを無料としているところがある。市内の公共施設に先立ち、高校生を無料としたい。歳入については、高校数が少ないため、歳出とのバランスを考えても大きな影響はない。4月には念願のカフェがオープンし、多言語の音声案内も導入する。入場については電子マネーで支払いができるように進めている。再度、博物館の利用を増やしていきたい。

【八市教委議第2号 承認】

＜協議第1号＞ 八代市立学校及び八代市立幼稚園並びに八代市立特別支援学校の夏季休業日の期間について

加賀学校教育課長 校長会から熱中症事故防止、働き方改革の観点から、夏季休業日の期間を延長することについての要望があった。このことを受け、課内、部内において、熱中症防止、各学校における教育課程の編成・実施等を含めた働き方改革の2点を中心に繰り返し協議を行った。協議の結果、令和9年度から夏季休業日を7月21日から8月31日までとすることとし、令和8年度は、期間変更に向けた移行期間として、夏季休業日を8月27日までとしたいと考える。

熱中症防止と働き方改革における本市の状況について、資料により説明

丸山教育委員 働き方改革が必要であることは理解しているので、夏季休業日の期間を延長する理由は十分理解できるが、各学校における授業時数の差の解消は、夏季休業日の長さに関わらず取り組まなければならないことではないかと思う。夏季休業日を数日延長することで、どのように解消されるのだろうかというのが今ひとつイメージできないという印象である。以前は8月31日までが夏休みであったが、今八代市が県内でも短いほうであることは知らなかった。延長することは理解したいが、熱中症予防という理由については、全ての教室にエアコンが設置されており、先ほどの議題のなかで、体育館にも18校はエアコンが整備されたとのことだったので、理由としては少し弱いのではないか。今後、18校以外の体育館へのエアコンの設置はどのような予定になっているだろうか。

加賀学校教育課長 授業時数について、教科の授業時数にも差があり、少ない学校は、1日1日細かく計算したうえで算出した数値が多いのではないかと考える。また、多い学校は、単純に授業日数から余剰時数をプラスして算出してあるのではないかと考える。各学校にも細かく見ていただきたいと思っている。年度初めに教育課程の編成の提出を市教育委員会として求めている。法で定められているものであり確認をしている。それを基に、学校教育課の指導主事で時数について指導をしているが、5～6月頃になるので、学校では年間の教育課程の編成が済んでおり、それが改善されないまま次年度も同様の編成をしてしまうということが多い。10年以上前から行われていることであるが、学校によっては差があり、インフルエンザ等で臨時休校があった場合の余剰時数としてカウントして

いる学校が多いのではないか。

行事等についても精選されているが、本当に必要なものであるか、最近では、教科に抱き合わせたり、総合的な学習にカウントするなどして、効果的な学びを行っている学校もある。夏季休業日の延長を教育委員会から投げかけることで、このような見直しを進めるきっかけとなるのではないか。前年踏襲ではなく、改革の意識を持って働き方改革を進めたいと考えている。

熱中症予防に関しては、空調設備は整っているが、外遊びや体育の時間、いちばん影響する登下校についても安全の確保ができればと考える。

稲本教育部理事兼
教育施設課長

体育館の空調設備について、今回の整備については、危機管理課の予算で行ったものである。避難所の整備という主旨に基づくものである。今後の整備については、まだ計画がない。文部科学省の通知では、避難所施設については、時限措置であるが、補助金が通常の3分の1から2分の1へかさ上げがなされている。トイレの洋式化のときは、洋式化率の調査が何度も行われた。再三の調査があった。今後、体育館の空調設備についても同様の調査があるのではないかと思われる。前首相においても、災害避難所の防災機能強化を謳われていた。今後、どのような計画を立てていくのか検討していきたい。

中教育長

体育館のエアコンについては、現時点で統計を取ると、本市は約半数が整備されているので、高い数値になる。文部科学省の補助金の対象となるのは、断熱仕様にしなければならない。耐震化のとき、軽量化するために天井の断熱材を取っている。それをまた貼る必要がある。断熱仕様を上げた整備でないと効果が薄いので、補助の対象にならないということもある。一度はずしたものを再度付ける工事となり、非常に効率が悪く事業費も上がるので、災害対応と同じ費用ではできない。社会的にニーズがあるので要請があるかもしれないが、状況を確認しながら取り組んでいきたい。

加賀学校教育課長

学校にも夏季休業日の延長について諮っているのですが、説明したい。

永野学校教育課指
導係長

今回の夏季休業日の期間延長について、各学校長にご意見をいただいた。現行どおり8月24日までで良いという学校は4校、8月29日までの5日間延長したいという学校は15校、8月31日までを希望されている学校は20校であった。単純に数でいうと、ニーズが多いのは8月31日までとなっている。小学校においては、8月31日を希望されて

いる学校が多いが、中学校においては、8月29日までを希望された学校が多いという現状である。8月24日や29日までを希望された学校の意見としては、休業日が長くなることによって、稼業日（平日）の授業日数が短くなるため、その分平日に6時間授業など、多くの授業をしなければならなくなる。それより、平日の授業を5時間授業や4時間授業にすることも働き方改革であり、先生方の負担軽減につながるのではないかと、教材研究を行うことができるのではないかとという考えもあった。8月31日までということについては、酷暑の影響や夏休みに先生方の研修が多くあるので、教材研究をして2学期の準備をしたり、先生方がリフレッシュするために休暇を取る時間が確保できないという理由からである。

丸山教育委員

本来であれば、夏季休業日は長く、稼業日は短くというのが理想であるが、子供たちの学習時間の確保がもう一つ大事な目標としてあるので、学力低下が指摘されている中で、授業時数が減ることのないようなかたちで、夏季休業日の延長ができるのがベストであると思う。

先ほどの課長の説明によると、授業時数の偏り、格差をなくすための外圧的な要件としても、夏季休業日を延長し、普段の時間を減らすことで、授業と行事とのバランスを考えるきっかけにしてほしいということもあるのだろうか。

加賀学校教育課長

学校で工夫をしていただくことは大事であると思う。次の学習指導要領が2030年頃に出されると思うが、稼業日の時数に関することについては、文部科学省から論点整理として出されている。余白の時数をどう作り、どう運用していくか、目玉となってくると思われる。調整授業時数制度というのが導入される。具体的には、ある教科の時数を減らし、浮いた時数を他の教科や裁量的な時間として研究や研修に充てることができるという制度である。学校で裁量できる部分になるので、時間をどう有効に使っていくかという意識は、今後、学校としても持つべきであると思う。夏季休業日の期間の変更を含め、時数の意識を高めていきたいと考える。

渡邊教育委員

冒頭で、この件については校長会の要望があったからということであったが、具体的にはどのような内容だったのだろうか。

加賀学校教育課長

他市町村と比較して、非常に夏季休業日が短い。先生方の働き方改革の観点からどうにかできないだろうかという要望だった。新しい学習指導要領が出されたときに、授業時数を確保するということが絶対であるということがあったので、

夏季休業日を短くし、確実な授業時数を確保したという経緯があったが、その後、コロナの期間があり、必ずしも授業時数を下回ることが規則に反するものではないということが出された。これを含め、先生方の働き方改革、子供たちの学力を考慮したうえで提案したものである。

渡邊教育委員

係長からアンケートの結果を示していただいたが、8月31日というのは概ね5割という状況で、8月31日を目指すと受け止めた。過去にも夏休みを短縮したり、冬休みを短縮したりして、それがまた元に戻っていく。いろいろな条件があって過去と比べるとは難しいが、長期休業日を変更するにあたっては、保護者の思いもあられるだろうし、民間の学習塾やスポーツクラブなど、いろいろな影響がある。慎重に、しかし迅速にしっかり周知をお願いしたい。授業時数については、中学3年生が一番厳しい。卒業式も早いので、学校がどう教育課程を編成していくかというのはとても難しい面もある。教育課程の編成は校長の責務であるので、適切にしていくべきであるが、各学校でこのように授業数が違うというのは、先生方や保護者はご存知ないのではないか。校長先生方同士は感じておられるだろうか。

加賀学校教育課長

比較はしていないが、最大値の学校、最小値の学校、平均値を示しながら学校間差が出ないようにしたい。

渡邊教育委員

学校間で差がなぜ生まれるのかというのは分析する必要があると思うが、しっかり説明をしていただいて、その学校の特色を生かした、子供たちにとっての教育課程を組んでほしいと思っている。学校の気持ちに寄り添った行政を行うことは大事であると思うが、しっかりと校長先生方、学校の先生方が考えて、取り組んでいただきたいと切に願っている。

中教育長

今回、令和8年度については試行としたい。学校も自分たちの学校のことしか分からず、他の状況が分からないという点では取組も進まないと思う。その点の投げかけ、少ない時数でできている学校はどんな工夫をされているのか、標準授業時数以外で行っている取組は本当に必要なのかなど、しっかり検討してもらいながら、9月1日から2学期が始まるという状況にできるのか、しっかり学校と一緒に検討していきたい。また、教育委員会においても働き方改革に向けて、学校の負担をさらに軽減するような取組がないのか、学校は学校でできること、教育委員会は教育委員会のできることをしっかりすることが大事だと思う。これを単に押し付けと受け取られないようにしたい。保護者の方々に関しては、夏休みは短いほうがよいということも聞くこともあるので、これを

延長することについて、理解が得られるようにしっかり説明をしていく必要があると思う。学校とも調整をしながら、しっかり周知をしていきたい。

今回、当初のアンケートの提案と2学期のスタートが違うが、現在、1週間短いので実質5稼業日少なくなっている。曜日の関係で、3稼業日減らしてある。

田中教育部長

来年は7月20日が海の日となり、終業式が7月17日となる。夏休みが例年より早く始まるので、この調整もあり試行とした。2学期の始業式が8月28日金曜日となり、土・日をはさんで8月31日となる。

中教育長

龍峯小や千丁小は災害の関係で、今年度の2学期は9月1日であったが、アンケートでは2学期中には取り戻せたということだった。いろいろご心配もいただいているので、保護者の方々、学校現場に伝わるように説明をしていきたい。

5. 連絡事項

教育政策課 第3回総合教育会議 (2/13 10:00~)

学校教育課 令和8年度の学校・園訪問について
幼稚園職員の人事異動について

熊本県・八代市学力・学習状況調査結果受領
(1/30 予定)

生涯学習課 八代市立図書館せんちょう分館災害復旧工事の
進捗状況について

としょかんマルシェ (2/15 9:30~)

教育サポートセンター

千丁支所工事に伴う「くま川教室」の活動場所
の一部変更について

第3回サポートセンター新任研 (2/2)

博物館 大規模改修終了後の再開館について

未来の学校づくり推進室

学校再編等基本方針パブリックコメント (2/2~
2/27)

事務局 2月定例会日程変更 (2/19 10:00~)

6. 会議録署名委員の指名

早田委員・澤村委員

7. 閉会

(午後3時07分 閉会)

令和 年 月 日

署名委員

記録者
